

四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立 塩浜 中学校

校長 山 崎 浩 文

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

～地域とともにある学校をめざして～

コミュニティスクールは、保護者、地域の皆さんと本校の「学校づくりビジョン」を共有し、一体となって学校運営に取り組み「地域とともにある学校」をめざします。

運営協議会では定期的に会議を開催し、学校運営や地域活動に関する協議を行っています。各運営委員には、会議開催日や学校公開日、文化祭や体育祭等の学校行事を参観し、生徒や教職員の様子を把握していただいています。

また、学校評価アンケートの結果から本校の強みと弱みについて見出し、さらなる高みに到達するために、様々な角度から意見や助言をいただいています。それらを可能な限り反映できるように、職員会議等で話し合い、学校運営に役立てています。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

昨年度より発足した本校のコミュニティスクール運営協議会は、年間4回の会議が持たれました。運営委員がほぼ昨年度と同じであるため、昨年度以上にコミュニティスクールの意義を考えながら活動することができました。運営委員からは、小規模校ならではの特性を活かしながらどのように学校・家庭・地域が連携していけばよいかを、地域住民あるいは保護者としての立場でご意見をいただきました。

また、今年度は昨年度ほどコロナの影響を受けることなく、行事を概ね予定通り実施することができ、保護者や地域住民に学校や生徒たちの様子を知っていただく場をより提供することができました。

★年間4回の運営協議会と主な活動内容★

○第1回運営協議会＜5月27日（金）＞

- ・委員の委嘱
- ・委員長選出
- ・今年度の活動方針について
- ・今年度の学校づくりビジョンについて
- ・学校でのコロナ対策について
- ・年間行事予定について
- ・授業見学



○第2回運営協議会＜9月27日（火）＞

- ・体育祭見学
- ・第1回学校評価アンケートの分析結果について
- ・学校および生徒の様子について
- ・タブレットの使用状況について
- ・全国学力・学習状況調査の結果について
- ・学校指定物品の見直しについて



○第3回運営協議会<11月1日(火)>

- ・文化祭見学
- ・学校および生徒の様子について
- ・学校運営、職員の様子について
- ・塩浜地区の発展について



○第4回運営協議会<2月13日(月)>

- ・第2回学校評価アンケートの分析結果について
- ・今年度のCS運営協議会を振り返って
- ・学校や地域での防災の取組について
- ・令和5年度の学校行事計画について
- ・令和5年度の学校づくりビジョンについて
- ・令和5年度のCS運営協議会委員の委嘱案について



(1) 教育活動の実践事例

【2年生：職場体験学習 6月7日(火)～9日(木)】

塩浜地区をはじめ、市内にある事業所に体験を受け入れていただきました。自分たちが住んでいる塩浜地区を含めた四日市市を誇りに思い、今後も地元を愛し、地元のために貢献できる子どもたちが育つように、学校と地域が協力していきたいです。受け入れていただいた事業所からは、「地元の未来を担う子どもたちが、ぜひ地元で働いてくれるように協力したい」と好意的な意見をいただいています。



【1年生：環境学習（四日市公害） 7月4日(月)】

昭和47年（1972年）7月24日の四日市公害訴訟判決から50年を迎える約3週間前。塩浜地区連合自治会長の石田清延さんに、四日市公害についてお話していただきました。それに関する歴史、判決や関係企業のことなど、中学生の目線に立った熱い語りに、生徒たちはじっくりと聞き入っていました。石田さんが塩浜地区をこよなく愛し、四日市公害のことを後世に語り継いでいかねばならないという使命感を抱いてみえるのがよく伝わってきました。生徒たちからは「大変勉強になった」「この塩浜地区を素晴らしい街のまま保っていきたい」といった感想がありました。



【1年生：環境学習（磯津海岸清掃） 6月16日（木）・9月30日（金）】

1学期と2学期に1回ずつ、磯津海岸へ清掃活動に出かけました。単にごみを拾って海岸をきれいにするだけでなく、学校に戻ってからはマイクロプラスチックを種類ごとに分けて、調査用紙に慎重に貼っていました。どの班も楽しそうに活動し、どのようなごみが多いか、ごみが環境や生態系にどのような影響を与えるかなどの事後学習も行いました。



（2）コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

昨年度からコミュニティスクールの指定校になり、手探りの中スタートしましたが、他校の先進的な例を参考にしながら、少しずつコミュニティスクールの在り方や活動方針を意識することができるようになってきた2年目でした。塩浜地区のみなさんは学校への愛着が大変強く、常日頃から子どもたちの安心・安全のために目配り、気配りをしてくださっています。「塩浜地区の子どもたちは、地域住民みんなで見えていく」という思いが伝わってきます。運営委員のみなさんをはじめ、民生委員や保護司の方々が、「塩浜中の子どもたちはとても元気に挨拶してくれる」と言ってくれます。また、「子どもたちの元気な登下校の様子を見ていると、こちらが元気をもらう」とのお言葉もいただきます。まさに生徒たちは、地域住民のみなさんに愛されていると言えます。今後も塩浜地区全体が「ファミリー塩浜」となり、子どもから高齢の方までが固い絆で結ばれた地区であり続けると確信しています。

また、運営協議会の場では、委員のみなさんは教職員では気がつかない視点で教育活動に関するよい点や改善点を見出し、建設的な意見を出してください。いただいた意見は全教職員で共有し、よりよい学校作りに役立てています。

3 今後に向けて

来年度も今年度の反省を活かしながら、運営協議会を中心にさらに話し合いを重ね、より充実したコミュニティスクールになるようにしていきたいです。学校が地域に貢献できることは何か、地域が学校に求めていることは何かを吟味し、「地域とともにある学校」になっているかを折に触れて検証し、学校と地域がウィンウィンの関係を継続できるように、さらなる高みをめざしていきます。